

産業建設常任委員会記録

令和 8 年 5 月 1 9 日

【開催日】 令和8年5月19日（火）

【開催場所】 第2委員会室

【開会・散会時間】 午前10時～午前10時23分

【出席委員】

委員長	恒 松 恵 子	副委員長	中 島 好 人
委員	穂 本 真 一	委員	武 野 裕 司
委員	中 村 博 行	委員	福 田 勝 政
委員	矢 田 松 夫		

【欠席委員】 なし

【委員外出席議員等】

副議長	大 井 淳一朗		
-----	---------	--	--

【執行部出席者】

副市長	古 川 博 三	経済部長	高 橋 雅 彦
公営競技事務所副所長	大 下 賢 二	公営競技事務所主査	益 富 孝 重

【事務局出席者】

局長	舩 林 康 則	議事係書記	末 岡 直 樹
----	---------	-------	---------

【審査内容】

- 1 議案第37号 令和8年度山陽小野田市小型自動車競走事業特別会計補正予算（第1回）について
- 2 その他

午後10時 開会

恒松恵子委員長 おはようございます。ただいまから産業建設常任委員会を開会いたします。本日の審査日程につきましては、お手元に配付しておりますとおりに進めてまいります。それでは、審査内容1番、議案第37号令和8年度山陽小野田市小型自動車競走事業特別会計補正予算（第1回）について、執行部の説明を求めます。

高橋経済部長 議案説明に入る前に、私から皆様方に一言お伝えしたいことがあります。公営競技事務所の山本所長につきましては、昨日から明日まで本場開催をしております。公営競技事務所長は、開催執務委員長という立場がありますので、そちらを優先してということで、昨日の本会議も欠席しましたし、今日の委員会も欠席しております。御了承のほどよろしくお願いいたします。それでは副所長から説明させていただきます。

大下公営競技事務所副所長 本日はどうぞよろしくお願いいたします。それでは、議案第37号令和8年度山陽小野田市小型自動車競走事業特別会計補正予算（第1回）について、御説明いたします。なお、お手元に資料を用意しておりますので、こちらも併せて御説明させていただきます。今回の補正は、令和7年度の決算見込みにつきまして、歳入が歳出に対して不足する見込みでございますので、地方自治法施行令第166条の2の規定に基づきまして、令和8年度の歳入を繰り上げて、これに充用しようとするものであります。予算書1ページをお願いします。第1条でございます。歳入歳出予算総額に、それぞれ5億2,000万円を追加し、歳入歳出予算総額をそれぞれ304億8,405万9,000円とするものです。続きまして、予算書5ページ、6ページをお願いいたします。上段の歳入では、3款2項1目雑入、1節雑入におきまして、歳入欠陥補填収入として、5億2,000万円を計上しています。また、下段の歳出では、5款1項1目前年度繰上充用金、21節補償、補填及び賠償金におきまして、前年度繰上充用金として、令和7年度の歳入歳出不足額に充てるため、同じく5億2,000万円計上しています。続きまして、委員会提出資料の御説明をさせていただきます。まず、資料1を御覧ください。こちらの資料は、令和7年度の各場の売上げを集計したものであり、通常開催、ミッドナイトレース開催及び重勝式の状況であります。山陽場の下の合計欄が、5場全体の売上合計で、総車券売上額は、1,296億6,099万1,900円となり、対前年度比110.2%となっています。令和6年度に引き続き、業界全体で1,00

0億円台を維持しております。このような売上状況の中、山陽場ですが、黄色で色塗りしている欄になります。まず、左端の開催日数ですが、上段が令和7年度の開催日数で147日となっています。下段が令和6年度の開催日数で145日ですので、2日の増加となっています。続きまして、山陽場の総車券売上額ですが、265億3,796万4,500円、対前年度比109.6%と伸びております。内訳では、本場売上、公式投票、場間場外、専用場外は減少となったものの、民間ポータルが113.8%、重勝式が110.0%と伸びています。次に、表の中央やや右にあります本場入場者数ですが、こちらの数値は山陽場の本場開催に来られたお客さんの人数になります。年間4万2,089人の1日平均では628人となっています。続きまして、この後の資料2及び資料3ですが、資料2が通常開催のみで、資料3が別枠開催と呼ばれるミッドナイトレースのみを記載したものであり、それぞれ資料1の内訳となります。まず、資料2を御覧ください。これは、通常開催のみですが、山陽場は黄色の欄になります。開催日数は、67日開催しました。次に総車券売上額ですが、107億9,664万5,700円となり、対前年度比で108.3%、一日平均では、1億6,114万3,900円で、対前年度比102.0%と売上げを維持している状態であります。続きまして、資料3を御覧ください。これは、別枠開催のミッドナイトレースのみですが、山陽場は同じく黄色の欄になります。開催日数は、80日開催しました。次に総車券売上額ですが、134億3,374万2,300円となり、対前年度比110.7%と伸び、一日平均も、1億6,792万1,700円で、対前年度比113.9%と伸びております。続きまして、資料4をお願いします。こちらの資料は、各種の決算見込数値をまとめたものになります。資料の左側に付しています番号に沿いまして御説明いたします。まず、1は、令和7年度歳入歳出決算見込になります。歳入が270億5,559万円、歳出が275億3,866万6,000円となり、歳入歳出差引不足額が4億8,307万6,000円となる見込みです。この歳入歳出差引不足額が令和7年度末での累積赤字見込額となります。なお、この度の補正予算におきまし

ては、5億2,000万円を繰上充用金として計上しています。続きまして、2は令和7年度の単年度収支になります。歳入は1と同じく270億5,559万円となります。一方、歳出には、次の3にあります、これまでの累積赤字額つまり前年度繰上充用金が含まれていますので、この金額6億4,317万円を除いた、268億9,549万6,000円が歳出額になります。その結果、1億6,009万4,000円の黒字となる見込みです。続きまして、3は累積の赤字額になります。1と同じ数値となりますが、こちらは、前年度からどれだけ累積赤字額が減っているのかに着目した計算になります。令和6年度末の累積赤字額が6億4,317万円でしたので、この数値から、先ほどの令和7年度の単年度黒字額1億6,009万4,000円を差し引いた4億8,307万6,000円が令和7年度末の累積赤字額となります。続きまして、4はリース料関係になります。令和6年度末のリース料の残額が1億5,343万円で、令和7年度に7,671万3,000円返済しましたので、令和7年度末のリース料の残額は、7,671万7,000円となる見込みです。なお、リース料は、今年度末、令和8年度末で完済予定です。続きまして、5は累積赤字額とリース料残額の二つの債務が前年度からどれだけ減っているのかという数値になります。上記3のAと4のイを合算したものとなります。右端に付していますアルファベットAの2億3,680万7,000円が令和7年度の二つの債務解消額になり、その下の5億5,979万3,000円が令和7年度末の二つの債務残額となります。続きまして、6と7は保有する二つの基金になります。6が施設改善基金、7が財政調整基金になります。6の施設改善基金を主により多く積み立てることとしており、7の財政調整基金は、不測の事態に備えるため2億円を目途に積み立てることとしています。両基金の増減額となりますDとEを合算した下から2行目の6億3,475万5,000円が、令和7年度に増額となった基金の総額となります。この金額に、先のA、2億3,680万7,000円を最も下の行A+D+Eの金額8億7,156万2,000円が令和7年度の基金も含めた実質収支改善額になります。令和7年度につきましても、皆様

の御理解を頂きながら、単年度収支におきまして黒字、さらには基金へも一定額を積み立てることができました。こうしたことも踏まえまして、実質収支改善額という表現を用いさせていただいております。続きまして、資料５を御覧ください。こちらの資料は、小型自動車競走事業特別会計をその性質により大きく三つにグループ分けした表になります。資料の左側に付しています番号に沿いまして御説明いたします。まず、１は開催に係る収支で、通常開催及びミッドナイト開催を合わせたもので、この部分が包括的民間委託に係る収支となります。歳入は、主なものとして、①の本場開催発売金２４３億８，６１３万円、場外事務協力収入２億２，９６３万９，０００円などを合計した⑤は、２４６億４，４７８万４，０００円となります。続きまして、歳出②の義務的経費は、払戻金、ＪＫＡ交付金で、備考欄に茶色でマーカーした数値１７４億３，２０７万５，０００円となります。次に③の開催経費は、賞典費の１０億４，０４０万２，０００円などを合計した備考欄に黄色でマーカーした開催経費の合計５３億２，３３９万２，０００円となります。そして、項目黄色括弧書きの収益保証は９億８，８２３万５，０００円、④の包括的民間委託料は９億１０８万２，０００円となり、歳出もこれらを合計した⑤の２４６億４，４７８万４，０００円となり、（Ａ）の歳入歳出差引はゼロ円となります。続きまして、２は開催以外に係る収支になります。歳入の主なものは、浜松市借上げ開催に伴う施設貸付収入３，２６２万円や市の収益保証９億８，８２３万５，０００円で、歳入合計は⑧の１０億２，８２５万円となります。歳出は、⑦の項目にありますリース料７，６７１万３，０００円や一般会計繰出金７，０００万円、基金積立金や前年度繰上充用金等を含めた合計１５億３，９９９万６，０００円で、（Ｂ）歳入歳出差引は、マイナスの５億１，１７４万６，０００円となります。続きまして、３は重勝式に係る収支になります。歳入は、⑨重勝式発売金の２３億７，０７９万１，０００円になります。歳出は、⑩の義務的経費であります重勝式払戻金・返還金とＪＫＡ交付金の合計が備考欄茶色のマーカー１７億１０５万９，０００円で、⑪の開催経費は、各開催場への負担金、全動協への特別拠出金等の合計で備

考欄黄色のマーカー 2 億 3, 9 0 7 万 6, 0 0 0 円となっています。⑫の重勝式発売業務委託料、そして⑬の施設改善基金への積立金を合計しまして⑭の歳出合計が、2 3 億 4, 2 1 2 万 1, 0 0 0 円になります。この重勝式に係る収支（C）の歳入歳出差引は、2, 8 6 7 万円のプラスとなります。よって、（A）＋（B）＋（C）の合計は、4 億 8, 3 0 7 万 6, 0 0 0 円となり、これが令和 7 年度末での累積赤字額となります。これら三つのグループの収支を整理し、まとめたものが表の下側になります。先ほど資料 4 で御説明した内容と同じものになりますので、説明は割愛させていただきます。以上で補正関係の説明を終了します。御審査のほどよろしくお願いいたします。

恒松恵子委員長 執行部の説明が終わりました。ここで委員からの質疑を求めます。お手元の補正予算書 1 ページから 5 ページの上段、歳入までの質疑を求めます。

中村博行委員 本会議場でも若干の説明はありましたが、今回は繰上充用で 5 億 2, 0 0 0 万円です。赤字の額が 4 億 8, 0 0 0 万円ということで、当然余分を見越して、金額を計上しているとは思いますが。赤字 4 億 8, 0 0 0 万円に対して、繰上充用 5 億 2, 0 0 0 万円の上げ幅については、毎回そういう形になっていると思うんですけど、何か根拠があるのか、大体このぐらいという目安でされているのでしょうか。

大下公営競技事務所副所長 決算見込みは、ほぼ確定値に近いのですが、私たちも当然、歳入歳出を全部確認しました。それでも経費の払い漏れがあるとか、費用が生じてはいけませんので心持ち幅を持っております。

恒松恵子委員長 そのほか歳入について。

樫本真一委員 5 ページの 2 の歳入、3 款諸収入の雑入です。令和 8 年度当初の予算書 1 2 ページで市預金利子 1 万円が上がってまして、雑入と合わ

せて、計のところが一緒の表示になるんじゃないかと思ったんですが。

大下公営競技事務所副所長 当初予算で別の項で、1万円を預金利子で計上していますので、その合計したものが5億2,001万円になります。

恒松恵子委員長 そのほか、歳入について。（「なし」と呼ぶ者あり）次に、5ページの下段からの歳出について、質疑はありますか。それでは歳入歳出の質疑を終わりました。資料1、2、3、施行者別車券売上金額入場者数利用者数集計表でございます。（「なし」と呼ぶ者あり）次に資料4。

中島好人副委員長 一番上、歳入額は270億円で、歳出額が275億円ですよ。ですから5億円余りが不足するので、5億2,000万円繰上充用するということですが、議案説明の中で、要するに総額が304億円ですよ。とすると、30億円余りの幅を持つ説明をお願いします。

大下公営競技事務所副所長 今回の第1回補正は令和8年度予算です。資料4の歳入歳出決算見込額は、令和7年度の決算見込額で、その乖離が約30億円あるということです。

中村博行委員 累積が4億8,000万円であり、今年度のもろもろ基金をのけた単年度収支が1億6,000万円。単純に考えると3年ぐらいで、繰上充用もなくなると考えられるんですけど、どのぐらいの見込みで繰上充用がなくなるか教えてください。

大下公営競技事務所副所長 ここ数年は売上げが順調に伸びており、それに伴って収益も伸びています。基本的には、前年度の累積赤字解消額を上回る額を、次年度解消するスタンスで今取り組んでいます。例えば、令和8年度1億8,000万円、令和9年度2億円解消を目指していますので、このままの調子でいけば、令和11年度には逆に繰越金が出るのではと

いう推測はしています。引き続き、売上げが上がるよう努力してまいります。

中村博行委員　そうすると累積はゼロになり、これからプラスに移行するという見立てですけれども、一般会計のほうにも入れられるのか、それとも基金を多く積み立てて、これからの施設改善に持っていかれるという計画はありますか。

大下公営競技事務所副所長　計画等は考えておりませんが、三つを両立できるように、引き続き、頑張っていきたいとは思っています。

恒松恵子委員長　そのほか、資料４から質疑はありますか。（「なし」と呼ぶ者あり）続いて、資料５から質疑を求めます。

穂本真一委員　資料５の重賞式に係る収支で施設改善基金積立金が、昨年は７，０００万円ほどで、今年が１億２，０００万円であり、５，０００万円ほど計上が上がっている根拠は何かあるのでしょうか。

大下公営競技事務所副所長　売上げが伸びたのもありますし、経費が減少したということもあります。

穂本真一委員　この積立ても、基金に対しての何か目標金額みたいなものはあるのでしょうか。

大下公営競技事務所副所長　施設改修を控えておりますので、できれば多く積み立てたいと思っています。

恒松恵子委員長　そのほか、資料全般で質疑はありますか。（「なし」と呼ぶ者あり）それでは以上で質疑を終わります。討論はありますか。（「なし」と呼ぶ者あり）それでは、これより採決いたします。議案第３７号

令和８年度山陽小野田市小型自動車競走事業特別会計補正予算（第１回）
について、賛成の委員の挙手を求めます。

（賛成者挙手）

恒松恵子委員長 全員賛成で可決すべきものと決しました。審査番号２番、その他。よろしいですか。（「なし」と呼ぶ者あり）それでは、以上をもちまして、産業建設常任委員会を閉会いたします。お疲れさまでございました。

午前１０時２３分 散会

令和８年（２０２６年）５月１９日

産業建設常任委員長 恒 松 恵 子